

4 本時の学習

(1) 目標 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、歌唱表現を創意工夫して歌う。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>① 前時を振り返って、1, 2番を歌う。</p> <p>②「花の街」の3番の歌詞が表す情景や心情を想像する。</p> <p>◇1番の歌詞と比べて、悲しい言葉を使っている。</p> <p>めあて 「花の街」の曲想を感じ取って表現を工夫しよう。</p> <p>③生徒の言葉で課題を設定する。</p>	<p>○前時までの学びを振り返ったり、歌詞が表している情景や心情について話し合ったりして、それらを思い浮かべながら「花の街」を歌うことができるようになる。</p> <p>(「問い合わせ」を生み出す手立て等) ○1, 2番の歌詞と対比して、3番の歌詞の特徴を捉えられるようになる。</p> <p>【学習課題】 3番の歌詞に合う表現をするためには、1. 2番と対比させなどのようないい工夫をして歌えばよいだろう。(強弱、音色)</p>
		<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①3番の歌詞にはどんな思いが込められているのか確認する。</p> <p>②個人で、強弱などの表現の工夫について考える。</p> <p>◇「春の 夕暮れ」は、夕暮れの雰囲気を出したいので、ふんわりと f で歌い「ひとり寂しく」の m p で語るように歌いたい。</p> <p>③班で意見交換をする。</p> <p>④班で歌いながら、ふさわしい音楽表現を練習する。</p> <p>◇「ひとり 寂しく」は、言葉の発音を工夫して寂しい様子が伝わる歌い方にしている。</p> <p>期待される学びの姿】 感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞との関わりなどを基に、歌い試し、どのように工夫して歌うかについて、思いや意図を書いている。</p>	<p>3番の歌詞にはどんな思いが込められているのか確認する。いくつも同じ。 個人で、強弱などの表現の工夫について考える。 「ひとり 寂しく」は、言葉の発音を工夫して寂しい様子が伝わる歌い方にしている。 (方法: ワークシートの記述)</p> <p>【到達していない生徒(グループ)への手立て】 ○3番の雰囲気について対話しながら、歌詞や曲想を生かした工夫ができるようなヒントを与える。</p> <p>期待される学びの姿】 思いや意図を書いて、それを自分の意見と一緒にまとめて、自分なりに理解し、思いや意図をもって表現の工夫に繋げている。 (方法: ワークシートの記述・発言)</p>
		<p>⑤発表しながら意見を広める。</p> <p>1, 2番との対比についても、発表の中から適宜行う。</p>	<p>【到達していない生徒(グループ)への手立て】 ○強弱の加減や言葉の扱いを変化させて歌うなどしながら、3番の歌詞にふさわしい表現について対話し、よりふさわしい表現を求めるができるようになる。</p>
終末	10分	<p>3 まとめ。</p> <p>【まとめ】 曲想(歌詞)に合う歌唱表現にするためには、(言葉の発音や強弱)を工夫するなど。</p> <p>4 学習したこと振り返る。</p> <p>・1番から3番まで歌う。</p>	<p>○生徒の表現の工夫を基にまとめ、それを生かして歌うよう促す。</p> <p>○生徒の歌を聴いて、最初の頃の曲の捉え方から変化してきた部分や思いが伝わった部分を伝える。</p>